

三井住友銀行のコンピュータ バンクサービス接続手続のご案内 ＜XML連携方式＞

AnserDATAPORT接続
(システムご担当者用)



三井住友銀行

2024年11月改定

はじめに

コンピュータバンクサービスとは、お客さまのホスト・コンピュータと当行のコンピュータを接続し、当行の取引情報の照会、取引依頼データの送信等をご利用いただけるサービスです。

※ AnserDATAPORT接続とは…

(株)NTTデータが提供する専用回線を利用するファイル伝送接続の仕組みでJX手順(クライアント側)に対応した送受信が可能な接続です。

当行との接続・貴社でのデータ処理等のシステムは貴社にてご準備いただく必要があります。この小冊子は、本サービスをご利用されるにあたって主としてシステムの的な内容をご説明させていただくためにご用意いたしました。

国内関係や「輸入LC開設依頼」サービスや「外為取引情報」サービス等の「仕向外国送金」サービス以外の外為関係サービスは、別冊「三井住友銀行のコンピュータバンクサービス接続手続のご案内 AnserDATAPORT接続(システムご担当者用)」をご確認ください。

目次

はじめに	1
I. 通信プロトコル(通信手順)	3
1. 通信プロトコル、通信回線	3
2. システム概要	4
II. サービス内容	6
1. サービス種類・ご利用時間・伝送時限	6
2. データ伝送サービス	7
III. 費用 (2024年11月現在)	8
1. 貴社にてご手配いただく必要のあるもの	8
2. 当行にお支払いいただく費用(消費税込)	9
IV. 導入手続き	10
1. ご利用開始までの流れ	10
2. Connecureお申込みについて(Phase1)	11
3. 当行でのお申込について(Phase2)	12
4. Connecure回線設置・疎通テストについて(Phase3)	12
5. テストについて(Phase4)	12
V. 資料	14
資料ー1 接続手続	14
資料ー2 システム設定に必要なコード一覧	15

I . 通信プロトコル(通信手順)

コンピュータバンクサービス(AnserDATAPORT接続)では、下記の通信プロトコルにより
ファームバンキングサービスをご導入いただけます。

1. 通信プロトコル、通信回線

(1)通信プロトコル(外国送金ISO対応)ーインターネットEDI通信プロトコル

一般財団法人流通システム開発センターが策定したインターネットベースの企業・銀行間
オンラインデータ交換手順で、JX手順(クライアント側)に対応したサービスを提供いたします。
外国送金ISO対応に関しては、AnserDATAPORT・JX手順での接続となります。

※ AnserDATAPORTへの接続は、JX手順に準じた通信ソフトウェアをご準備下さい。
対象となる通信ソフトウェアは、(株)NTTデータのホームページ(外部サイト)をご確認ください。

AnserDATAPORT・ISO20022 対応(通信製品一覧)

<https://www.adp.ne.jp/ISO20022.html>

(2)通信回線:Connecure(コネキュア)

Connecureとは、(株)NTTデータが提供するインターネットや他のネットワークから物理的・
論理的に遮断された閉域ネットワークサービスです。

Connecureご利用に当たっては、別途(株)NTTデータへのお申込手続きやConnecureご利用料金
(初期費用、月額料金)の支払が必要となります。

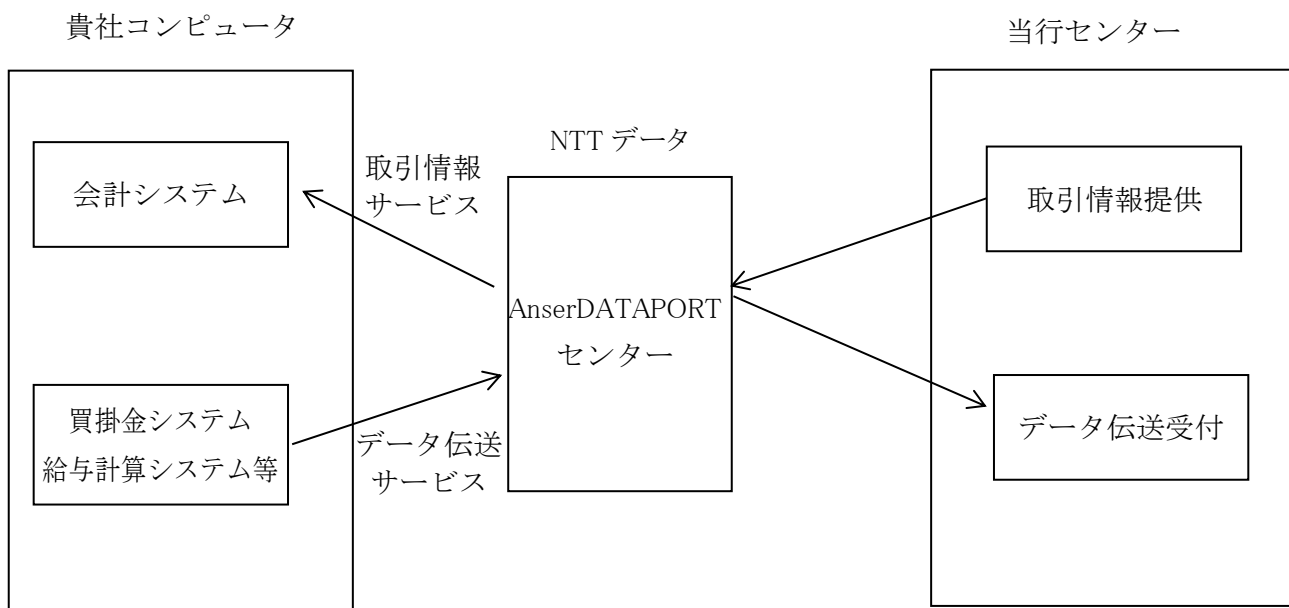
くわしくは(株)NTTデータのホームページ(外部サイト)をご確認下さい。

Connecure(通信回線) <http://nws.jp.nttdata.com/connecure/>

2. システム概要

(1) 当行センター構成

当行コンピュータセンターとの接続は、中間経路としてAnserDATAPORTセンターを経由し、接続をいただきます。



(2) 通信方式

通信方式は下記1種類となります。ISO20022対応に伴い、2025年11月より従来の全銀フォーマットでの送金が不可となります。VALUX接続およびAnserDATAPORT接続リアルタイム連携方式では新フォーマットの仕向外国送金に対応しません。2024年12月より順次、新接続方式であるAnserDATAPORT接続(XML連携方式)に切り替えを行います。

<XML連携方式>

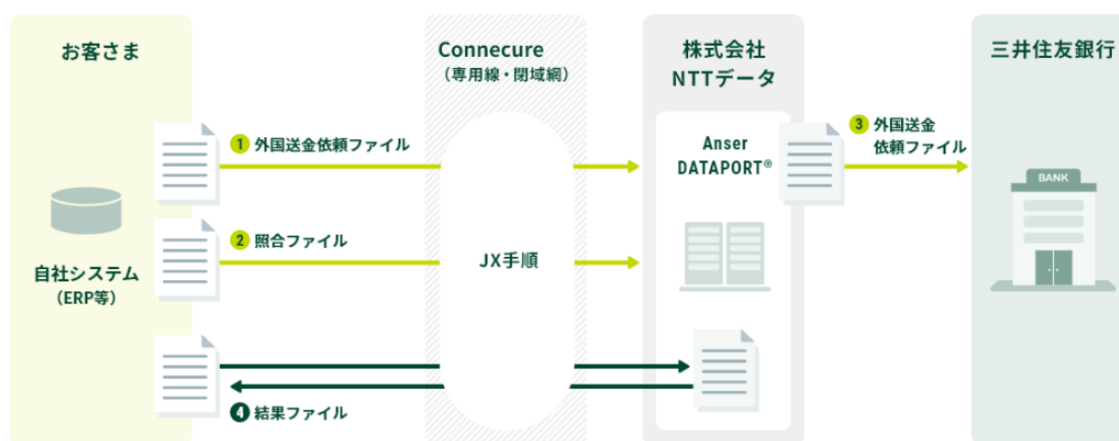
XML連携方式とは、ISO20022に準拠したフォーマットで銀行に対して外国送金を依頼可能とするための連携方式で、お客さまの自社システム等で作成されたXML形式 (ISO20022準拠) のデータをAnserDATAPORTを経由し、銀行に伝送する仕組みです。

送金依頼ファイルの伝送時に、オプションとして、「外国送金依頼ファイル」と別に、送金依頼データ件数等をセットした「照合ファイル」を送付いただくことで、従来のFAX承認に代替することが可能です。この場合、AnserDATAPORT内で照合ファイルの確認が完了すると、送金依頼ファイルが銀行へ伝送されます。

(オプションを適用しない場合、送金依頼ファイルは承認不要で即時に銀行へ伝送されます。)

照合ファイルのフォーマットは、AnserDATAPORT接続を利用している金融機関共通のフォーマットとなります。

XML連携方式



Ⅱ. サービス内容

コンピュータバンクサービス(AnserDATAPORT接続)で提供する内容は下記の通りです。

1. サービス種類・ご利用時間・伝送時限

①ご利用時間

サービス種類		ご利用時間
サービス	外為関係 データ伝送	月～金曜日 8:45～18:00 (銀行休業日を除きます)

②データ伝送時限

サービス種類		データ伝送時限
サービス	外為関係 データ伝送	送金実行日の前営業日 18:00 まで

2. データ伝送サービス

貴社のパソコンより ADP のセンターに外国送金(依頼・照合)データを送信いただき、ADP 側で照合に問題なければ、当行側システムに連携されます。

当行側システムにて確認を行い、問題なければ、他行へ送金処理(データ送信)を行います。

依頼データ確認後、結果(返却)データがセットされますので、貴社のパソコンより受信・取得し、内容を確認いただきます。

【ご注意点】

- ①ご利用可能な口座は当座・普通預金・外貨預金になります。
また、XML 連携方式は仕向外国送金サービスのみの対応でございます。
- ②依頼データの送信時限は、「送金取組日」(送金指定日)の前営業日18時までとなります。
1送金指定日で複数回データ送信する場合は、グループ通番等を更新し、送ってください。
- ③データ伝送後の承認(合計件数・合計金額の確認)方法は照合データによる方式となります。
照合データのファイル形式は AnserDATAPORT 接続をご利用頂いている金融機関共通のフォーマットとなります。
- ④送信後データの誤りに気づかれ、照合済のデータを取消、訂正する場合は、所定の組戻依頼書をいただいた上で、お手続きさせていただきます。
- ⑤依頼データ送信後は AnserDATAPORT センターにて保留されますので、受付時限までに所定の照合データをお送りいただきます。AnserDATAPORT センターで照合後、当行センターで受領となります。
→取消データを送信いただくことで、該当の依頼データを削除することは可能ですが、既にADP側を通過し、当行にデータが連携されている場合は、上記②の対応となります。
- ⑥AnserDATAPORT センターでの受付状況(未照合、照合済、取消済、照合時限切れ)については加入者(取引データ)取引内容の照会の機能を用いて確認が可能です。
- ⑦データ伝送後の承認については、申込書内記載の留意点に同意いただいた上で照合データ不要の選択も可能です。データ不要を選択いただいた場合は、依頼データの送信後、合計件数・合計金額の確認を経ずに、AnserDATAPORT センター側にデータの連携がなされます。

Ⅲ. 費用（2024年11月現在）

コンピュータバンクサービス（AnserDATAPORT接続）の費用は下記の通りです。

1. 貴社にてご手配いただく必要のあるもの

(1) 通信回線 「I-1.通信プロトコル、通信回線」に記載の回線

Connecure 回線の申込をあらかじめ NTT データまで実施ください。

(2) 通信用ソフト 「I-1.通信プロトコル(外国送金ISO)」に記載の通信プロトコル
対応ソフトウェア

AnserDATAPORT と接続確認済の認定ソフトウェアを NTT データのホームページ(外部サイト)に掲載しておりますので、そちらからご選択ください。

通信製品一覧 <https://www.adp.ne.jp/ISO20022.html>

2. 当行にお支払いいただく費用(消費税込)

■XML 連携方式

初期契約料	コンピュータバンクサービス (AnserDATAPORT 接続利用)	(税込) 110,000 円
月額利用料	外為関係取引情報サービス データ伝送サービス	22,000 円

新規 Connecure 回線を利用する場合は、下記のとおり、別途 NTT データへのご利用料金(初期費用、月額料金)が必要となります。

※既存 Connecure 回線を利用する場合は、不要です。

Connecureとは、(株)NTTデータが提供するインターネットや他のネットワークから物理的・論理的に遮断された閉域ネットワークサービスです。

Connecureご利用に当たっては、別途(株)NTTデータへのお申込手続やConnecureご利用料金の支払が必要となります。

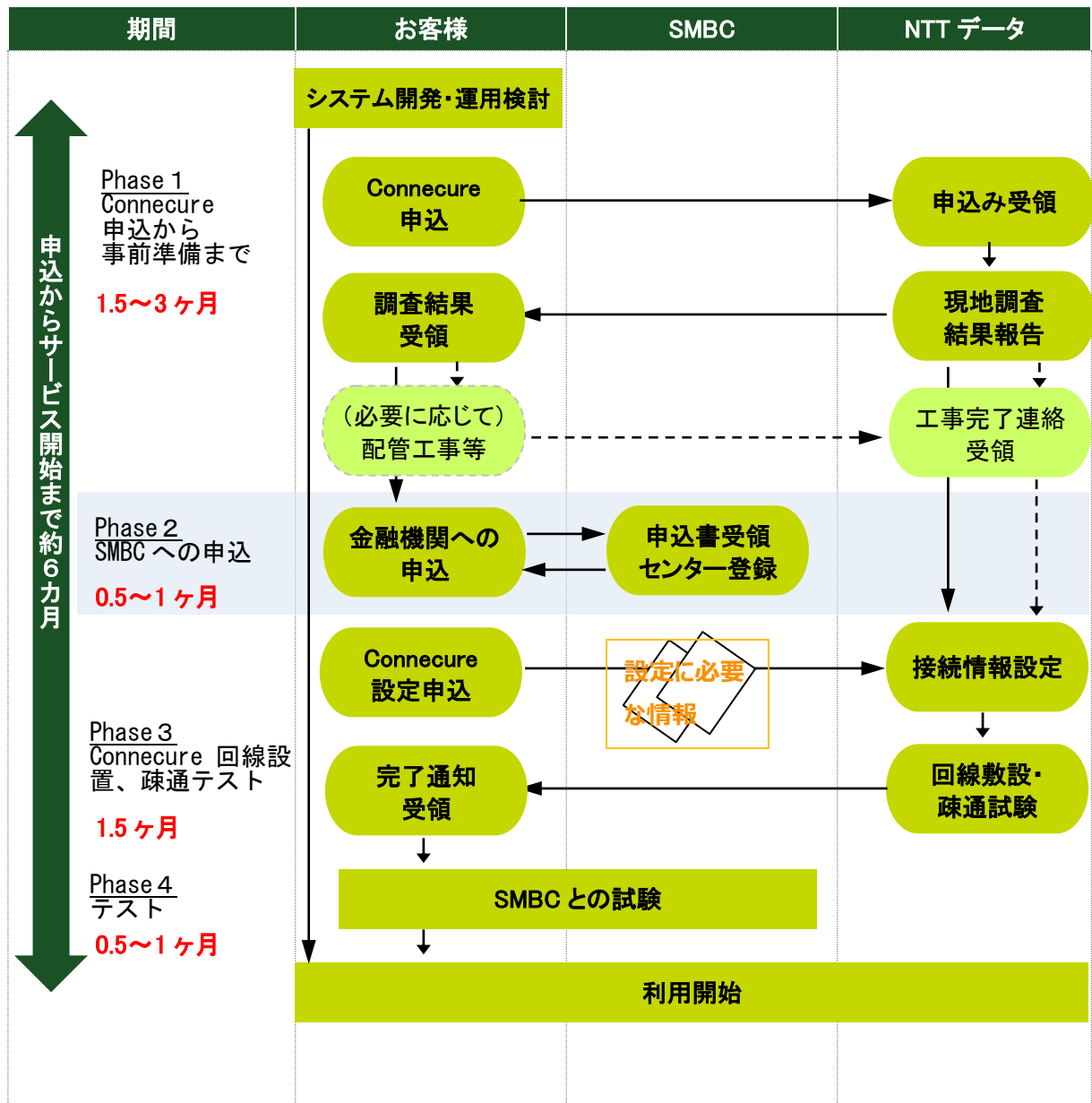
詳しくは、(株)NTTデータのホームページ(外部サイト)をご確認下さい。

Connecure(通信回線) <http://nws.jp.nttdata.com/connecure/>

IV. 導入手続き

コンピュータバンクサービス (AnserDATAPORT接続) のご利用開始までの流れは、下記の通りです。

1. ご利用開始までの流れ



2. Connecureお申込みについて(Phase 1)

コンピュータバンクサービス(AnserDATAPORT 接続)のご利用にあたり、Connecure を事前に申し込みいただく必要がございます。

くわしいお手続きは、下記 NTT データのホームページ(外部サイト)よりご確認ください。

(1) 回線サービスメニュー

Connecure は、以下の複数回線メニューよりご選択が可能です。

各メニューの詳細、料金等は NTT データまでご確認をお願いします。

回線メニュー(外部サイト): <http://nws.jp.nttdata.com/connecure/menu.html>

(2) お申込手続

Connecure のお申込、手続に関しましては、NTT データのホームページにて確認下さい。

導入手続(外部サイト): <http://nws.jp.nttdata.com/connecure/information.html>

(3) Connecureお問合せ先

株式会社NTTデータ ビジネスソリューション事業本部
ネットワークソリューション事業部 営業担当 (Connecure 窓口)
電話番号 : 050-5546-9751
メールアドレス : connecure_sales@kits.nttdata.co.jp
ホームページ : <http://nws.jp.nttdata.com/connecure/> (外部サイト)

3. 当行でのお申込について(Phase2)

コンピュータバンクサービス(AnserDATAPORT 接続)のご利用につきまして、下記申込書をお取引店※までご提出ください。

当行で登録手続き完了後、サービスご利用にあたり必要な情報を通知いたします。

書類名:「<AnserDATAPORT 接続>三井住友銀行のファームバンキングサービス(外為関係)申込書」

※ 当行に複数のお取引店がある場合は、代表のお取引店へ、すべてのお取引店の申込書を一括してご提出ください。各申込書の企業コード(お客さまセンター確認コード)は同一のコードをご記入ください。

4. Connecure回線設置・疎通テストについて(Phase3)

(1) 回線設置

Connecure 申込時にご指定の回線敷設情報や入館申請情報に基づき、NTT データの指定する設置業者とお客さまで調整いただきます。

お客さまと NTT データの作業分担や設置工事内容に関しては、NTT データホームページよりサービス仕様書をダウンロードのうえご確認ください。

・サービス仕様書(外部サイト)

<http://nws.jp.nttdata.com/connecure/download.html>

(2) ネットワーク疎通テスト

お客さまとのネットワーク機器の相性や、ネットワークアドレス変換(NAT)の設定を行った場合には IP アドレスが正しく設定されることなど、通信経路の正当性確認を目的とし、テストを実施します。Connecure ネットワークメニューで冗長化のメニューを選択いただいた場合、バックアップ回線への切替などもこのタイミングでテストいたします

5. テストについて(Phase4)

(1) テスト準備

① 貴社システム設定

当行とのテストにあたり、貴社側で Connecure 回線接続及び通信パッケージの選定を完了させてください。

これらの設定が完了しましたら当行とのデータ伝送のために必要な伝送制御情報をお客さまの環境に設定いただきます。設定内容は「資料-2 システム設定に必要なコード一覧」をご参照ください。

② 照合ファイルの準備

当行とのテストの際に依頼データの他に照合ファイルを送信いただく仕組みが必要です。

③ テスト実施要領、日程確認

当行センター確認コードと Basic 認証ユーザ名をテスト用に変更の上、送受信を実施してください。

伝送テストやサービス開始後のサービス内容についてご質問等ございましたら、下記までご照会ください。

なお、ご利用になられるソフトウェアの操作や接続不良等に関しては各提供会社にご照会下さい。

三井住友銀行のEBサービスセンター 0120-286-201
営業時間:月曜日～金曜日 9:00～18:00(銀行休業日は除きます)

V.資料

資料－1 接続手続

(1) サービス契約後の接続手順

当行から契約登録完了のお知らせ後、下記手順を実施してください。

- ① システム設定等の基本登録を行ってください。(⇒P.20～P.21)

【登録内容】

- a. センター確認コード b. Basic 認証ユーザ名 c. Basic 認証パスワード
d. 照合識別コード e. 接続先 URL f. IP アドレス g. 委託者コード

- ② 契約登録完了後、本番データ伝送前にテスト伝送を実施いただけます。(任意)

(2) テスト実施要領〈AnserDATAPORT 接続の場合〉

- ① データ伝送テスト実施要領 (XML 連携方式)

データ伝送テスト (XML 連携方式)	
テスト要否・対象サービス	任意:外国送金(依頼・照合・取消・結果(返却))データ
テスト可能日	銀行営業日の 9:00～18:00
テスト要領	<p>(1)テスト用依頼・照合・取消データの作成</p> <p>①送金取組日は、テスト送信日の前営業日から 24 営業日前までの過去日付かつ銀行営業日をセット。(テストでは送信当日や先日付の指定は出来ません。)</p> <p>②データ件数は、1 ファイルで MAX10 件程度までで送信してください。</p> <p>③依頼データには、委託者コードをセット。照合・取消データには、依頼データと同一のグループメッセージ ID、照合識別コード、キャンセルクラスをセット。</p> <p>(2)テスト結果の確認</p> <p>翌営業日以降、当行担当者よりご連絡させていただきます。</p>

資料－2 システム設定に必要なコード一覧

<XML 連携方式>

- ① 各種設定 (センター確認コード・Basic 認証ユーザ名・Basic 認証パスワード・照合識別コード・
接続先 URL・委託者コード)

項目		設定内容	
センタ確認コード	当方(お客さま)	申込書にご記入の企業コード (14 桁)	
	相手方 (当行)	本番用	06280000090001
		テスト用	06280000000000
Basic 認証ユーザ名	依頼	本番用	06280000090001-*****-0
		テスト用	06280000000000-*****-0
	照合	本番用	06280000090001-*****-9
		テスト用	06280000000000-*****-9
	取消	本番用	06280000090001-*****-9
		テスト用	06280000000000-*****-9
Basic 認証ユーザ名 (※1)	結果(返却)	本番用	06280000090001-*****-1
		テスト用	06280000000000-*****-1
Basic 認証パスワード (※2)	依頼	*****	
	照合	*****	
Basic 認証パスワード (※2)	取消	*****	
	結果(返却)	*****	
照合識別コード(※3)		*****	
接続先 URL		http://10.244.252.252:80/jx	
IP アドレス	本番用	10.244.252.252	
	テスト用	10.244.252.252	
会社コード/委託者コード(※4)		支店番号(3 桁)＋外為口座番号(7 桁)	

※1.*****は申込書記載の企業コード 14 桁。

※2.*****は申込書記載の送信暗証。

※3.*****は申込書記載の承認暗証。

※4.依頼データ(pain001)上に委託者を特定するコード。

申込書記載の会社コード/委託者コード。

② その他設定

項目		設定内容
(加入者) 自社企業識別情報	依頼	Foreign Remittance Request
	照合・取消	Match
	結果(返却)	Foreign Remittance Result
(金融機関) 相手先企業識別情報	全ファイル	Foreign Remittance System
ドキュメント形式	全ファイル	Foreign Remittance
接続先 URL		http://10.244.252.252:80/jx
ドキュメント種別	依頼	Foreign Remittance Request
	照合・取消	Match
	結果(返却)	Foreign Remittance Result

(1) 留意事項

① 通番

複数回送信する場合は、依頼データのグループメッセージ ID 内のグループ通番(3桁)を別の番号で付番いただき、送信いただくようお願いいたします。

② データ圧縮

XML 連携方式では、原則データ圧縮を推奨しております。圧縮方式は ZIP 形式を採用します。

③ テスト時の設定及び留意事項

データ伝送サービス

相手(当行)側センター確認コードと Basic 認証ユーザ名をテスト用に設定いただく必要がございます。

テストデータの振込指定日は、前営業日から 24 営業日前までの過去日付かつ銀行営業日をセット。(テストでは送信当日や先日付の指定はできません)

【その他】

・データ仕様等は、下記サイトよりダウンロードし、ご確認をお願いいたします。

今後修正(更新)が発生する可能性がございますので、都度最新の内容をご確認ください。

<最新仕様サイト>

①NTT データの仕様

https://bqa.smbc.co.jp/faq/show/4166?+site_domain=valuedoor&site_domain=valuedoor

■ISO20022 対応版 AnserDATAPORT 外国送金の仕様書の「1」～「5」

②当行の仕様

上記ページの■ISO20022 対応版 AnserDATAPORT 外国送金の仕様書の「6 当行フォーマット」